ける。また、本研究で使用するヒト由来 試料はすでに樹立された細胞株であり倫 理面での問題はないと考えられるが、新 たにヒト組織などを使用する必然性が生 じた場合には、文部科学省等でまとめら れた「ヒトゲノム、遺伝子解析研究に関 する倫理指針」及び、平成13年3月29 日付12文科振第266号文部科学省研究 振興局長通知に則り、当該研究機関の医 学研究倫理審査委員会に申請し、インフ オームドコンセントに係る手続きを実施 し、提供試料、個人情報を厳格に管理保 存する。

## C. 研究結果

遺伝子型2bのHCV株のレプリコンは野 生型、S2208I、A2217S の変異挿入ではコ ロニー形成が見られなかったが、LSG 変 異 (F438L、A15S、D559G) の挿入により コロニー形成が観察された。合計 15 クロ ーンのレプリコン細胞を樹立してレプリ コンゲノムの配列を決定した。すべての レプリコン細胞において LSG 変異以外の 新たな適合変異が検出された。適合変異 はNS4B, NS5A, NS5B領域に認められた。 検出された8種類の適合変異を遺伝子型 2b株の全長遺伝子にLSG変異とともに導 入してウイルス産生実験をおこなった。 全長構築から試験管内で RNA を合成して、 Huh751 細胞にトランスフェクションし、 RNA 導入細胞を経代培養した。その結果 感染性ウイルスの産生が確認された。

# D. 考察

遺伝子型2b株のレプリコンゲノムに検出した適合変異を利用することにより、感染性ウイルスを作成することが可能となった。遺伝子型2bは我が国では1b, 2aについで感染が広がっているため、抗ウイルス薬の感受性や、耐性ウイルスの研究が必要である。今後、この実験系を用いて、臨床で使用されている抗ウイルス薬や開発中の薬剤に対する解析が可能となる。

## E. 結論

遺伝子型2bの感染性HCVを作成することができた。

#### F. 研究発表

- 1. 論文発表
- Nakajima S, Watashi K, Kamisuki S, Tsukuda S, Takemoto K, Matsuda M, Suzuki R, Aizaki H, Sugawara F, Wakita T. Specific inhibition of hepatitis C virus entry into host hepatocytes by fungi-derived sulochrin and its derivatives. Biochem Biophys Res Commun. 2013 Nov 1;440(4):515-20.
- 2. Suzuki R, Matsuda M, Watashi K,
  Aizaki H, Matsuura Y, <u>Wakita T</u>,
  Suzuki T. Signal Peptidase Complex
  Subunit 1 Participates in the
  Assembly of Hepatitis C Virus
  through an Interaction with E2 and

- NS2. PLoS Pathog. 2013 Aug;9(8):e1003589.
- 3. Maehama T, Fukasawa M, Date T, Wakita T, Hanada K. A class II phosphoinositide 3-kinase plays an indispensable role in hepatitis C virus replication. Biochem Biophys Res Commun. 2013 Oct 11;440(1):150-156.
- 4. Matsumoto Y, Matsuura T, Aoyagi H,
  Matsuda M, Hmwe SS, Date T,
  Watanabe N, Watashi K, Suzuki R,
  Ichinose S, Wake K, Suzuki T,
  Miyamura T, Wakita T, Aizaki H.
  Antiviral Activity of
  Glycyrrhizin against Hepatitis C
  Virus In Vitro. PLoS One. 2013
  8(7):e68992.
- 5. Akazawa D, Moriyama M, Yokokawa H, Omi N, Watanabe N, Date T, Morikawa K, Aizaki H, Ishii K, Kato T, Mochizuki H, Nakamura N, Wakita T. Neutralizing antibodies induced by cell culture-derived hepatitis C virus protect against infection in mice. Gastroenterology. 2013 145(2):447-455.e4.

### 2. 学会発表および講演など

1. <u>T Wakita</u>. Hepatitis C virus replication models and vaccine development 2013 NCRTP PAC Meeting, Inn at Laurel Point, Victoria, BC,

- Canada (2013, 3.2-3)
- 2. <u>T Wakita</u>. Basic concepts of Hepatitis C. 2013 2nd Canadian Symposium on HepC Virus, Inn at Laurel Point, Victoria, BC, Canada (2013, 3.4)
- 3. <u>T Wakita</u>. Molecular Biology and Experimental Models of HCV. 19<sup>th</sup>
  Annual KASL Meeting, Sheraton Grande Walkerhill Hotel, Seoul,
  Korea (2013, 6.13 15)
- H Yokokawa, M Moriyama, N Nakamura, A Higashino, H Akari, T Kato, K T Wakita. Ishii. Induction of neutralizing antibodies by vaccination with cell culture C derived hepatitis particles in primate model. 20th International Meeting on Hepatitis C and Related Viruses. Convention Melbourne and Exhibition Centre, Melbourne, Australia, (2013, Oct. 6-10)
- R Sugiyama, N Sugiyama, A Murayama, 5. M Tasaka-Fujita, T Masaki, T Τ Kato. Amino acid Wakita, substitution in interferon sensitivity-determining region in NS5A involves infectious virus production of hepatitis C virus. 20th International Meeting on Hepatitis C and Related Viruses. Convention Melbourne and

- Exhibition Centre, Melbourne, Australia, (2013, Oct. 6-10)
- 6. S Nakajima, K Watashi, S Kamisuki, R Suzuki, H Aizaki, F Sugawara, T Wakita. Isolation of a natural which compound can reduce infectious HCV production by inhibiting of liver X receptor. 20th International Meeting Hepatitis C and Related Viruses. Melbourne Convention and Exhibition Centre, Melbourne, Australia, (2013, Oct. 6-10)
- 7. S Kim, T Date, H Yokokawa, T Kono, H Aizaki, C Gondeau, P Maurel, T Wakita. Infectious Genotype 3a Hepatitis C Virus in Cell Culture. 20th International Meeting on Hepatitis C and Related Viruses. Melbourne Convention and Exhibition Centre, Melbourne, Australia, (2013, Oct. 6-10)
- A Fujimoto, H Aizaki, M Matsuda, N 8. Watanabe, K Watashi, R Suzuki, T Suzuki, T Miyamura, T Wakita. Dynamics of the cellular during hepatitis C metabolome virus infection. 20th International Meeting Hepatitis C and Related Viruses. Melbourne Convention and Exhibition Centre, Melbourne, Australia, (2013, Oct. 6-10)

- 9. Twakita. Hepatitis C virus cell culture system and antiviral development. 17th International Symposium on the Cells of the Hepatic Sinusoid. Osaka International Convention Center, Osaka, Japan (2013, Sep. 23-25)
- 10. H Aizaki, N Watanabe, H Aoyagi, K Watashi, R Suzuki, S Kojima, Matsuura, K Wake, T Suzuki, Τ Wakita. Hepatitis C virus RNA replication in human stellate cells regulates gene expression of extracellular matrix-related 17th molecules. International Symposium on the Cells of the Sinusoid. Hepatic International Convention Center, Osaka, Japan (2013, Sep. 23-25)
- 11. <u>脇田隆字</u>、安東友美、林和彦、杉山 真也、石上雅敏、片野義明、後藤秀 実、溝上雅史、黒田誠、相崎英樹、 患者血清中におけるHCVゲノム多種 性の存在形式、第49回日本肝臓学 会総会、京王プラザホテル、(2013, 6.6-7)、ワークショップ3「ウイル ス肝炎の新潮流」
- 12. 藤田めぐみ、加藤孝宣、村山麻子、 山田典栄、<u>脇田隆字</u>、朝比奈靖浩、 坂本直哉、HCV Core領域アミノ酸 70/91変異株を用いた反応機序の解 析、第49回日本肝臓学会総会、京 王プラザホテル、(2013, 6.6-7)

- 13. 大東卓史、渡士幸一、Ann Sluder、中嶋 翔、Katyna Borroto-Esoda、藤田尚志、<u>脇田隆字</u>、シクロフィリンはPKRのリン酸化制御を介してC型肝炎ウイルスのインターフェロン感受性を修飾する、第61回日本ウイルス学会学術集会、神戸国際会議場、(2013, 11.10-12)
- 14. 内田奈々子、渡士幸一、中嶋翔、岩本将士、鈴木亮介、相崎英樹、千葉丈、<u>脇田隆字</u>、C型肝炎ウイルス分泌 過程はphospholipase Dが関わる膜輸送により制御される、第61回日本ウイルス学会学術集会、神戸国際会議場、(2013, 11.10-12)
- 15. 松田麻未、斎藤憲司、鈴木亮介、佐藤充、鐘ヶ江裕美、渡士幸一、相崎英樹、千葉丈、斎藤泉、<u>脇田隆字</u>、鈴木哲朗、細胞内発現抗体(イントラボディ)によるC型肝炎ウイルスの増殖抑制、第61回日本ウイルス学会学術集会、神戸国際会議場、(2013, 11, 10-12)
- 16. 後藤耕司,相崎英樹,渡邉則幸,渡 士幸一,鈴木亮介,山越智,四柳宏, 森屋恭爾,小池和彦,鈴木哲朗,宮 村達男,<u>脇田隆字</u>、C型肝炎ウイルス NS5A結合膜蛋白ELAVL1のウイルス複 製・翻訳スイッチング機構の解析、 第61回日本ウイルス学会学術集会、 神戸国際会議場、(2013, 11.10-12)
- 17. 金ソルイ、伊達朋子、横川寛、河野 環、相崎英樹、<u>脇田隆字</u>、C型肝炎ウ

- イルス遺伝子型3aの培養細胞におけるウイルス感染実験系の確立、第61回日本ウイルス学会学術集会、神戸国際会議場、(2013, 11.10-12)
- 18. 藤本陽、相崎英樹,松田麻未、渡邉 則幸,渡士幸一,鈴木亮介,鈴木哲 朗,宮村達男,<u>脇田隆字</u>、C型肝炎ウ イルス感染による宿主細胞の脂質代 謝変化とHepatic Lipase発現制御、 第61回日本ウイルス学会学術集会、 神戸国際会議場、(2013, 11.10-12)
- 19. 青柳春代,相崎英樹,松本喜弘,渡 邉則幸,渡士幸一,鈴木亮介,松浦 知和,鈴木哲朗,宮村達男,和氣健 二郎,<u>脇田隆字</u>、Phospholipase A2 およびAutophagyによるC型肝炎ウイ ルス(HCV)分泌過程の制御ーグリチル リチンによる抗HCV作用-、第61回日 本ウイルス学会学術集会、神戸国際 会議場、(2013, 11.10-12)
- 20. 杉山隆一、杉山奈央、村山麻子、藤田めぐみ、山田典栄、政木隆博、<u>脇田隆字</u>、加藤孝宣、ISDRアミノ酸変 異がHCV増殖に与える影響、第61回日本ウイルス学会学術集会、神戸国際会議場、(2013, 11.10-12)
- 21. 中嶋翔、渡士幸一、紙透伸治、竹本 健二、鈴木亮介、相崎英樹、菅原二 三男、<u>脇田隆字</u>、Liver X Receptor 転 写活性および感染性C型肝炎ウイル ス粒子産生を阻害する天然化合物の 同定、第61回日本ウイルス学会学術

集会、神戸国際会議場、(2013, 11.10-12)

- 22. 渡邉則幸、伊達朋子、相崎英樹、<u>脇</u> 田隆字、エンベロープペプチドを用いたHCV感染に重要なアミノ酸領域 の探索、第61回日本ウイルス学会学 術集会、神戸国際会議場、(2013, 11.10-12)
- 23. 鈴木亮介、石川知弘、小西英二、嵯峨涼平、松田麻未、渡士幸一、相崎英樹、高崎智彦、<u>脇田隆字</u>、プラスミドトランスフェクションによるトランスパッケージング型1回感染性フラビウイルス産生系の確立、第36回日本分子生物学会年会、神戸ポートアイランド、(2013, 12.3-6)
- G. 知的所有権の出願 ・ 登録状況 なし

# 厚生労働省科学研究費補助金(肝炎等克服緊急対策研究事業) 創薬と新規治療法開発に資するヒト肝細胞キメラマウスを用いた肝炎ウイルス制御に関する研究 分担報告書(平成25年度)

ヒト肝細胞キメラマウスを用いた新規抗HCV薬の効果判定 研究分担者 今村道雄 広島大学病院消化器・代謝内科 診療講師

研究要旨: uPA/SCID マウスにヒト肝細胞を移植したヒト肝細胞キメラマウスを用いてリバースジェネティクスの手法により、野生型あるいは direct-acting antiviral agent (DAA) 耐性変異型 C型肝炎ウイルス (HCV) 感染マウスを作製した. Telaprevir あるいは NS5A 阻害剤耐性型 HCV 感染マウス、に telaprevir+NS5A 阻害剤を併用投与すると両薬剤に対する 2 重耐性型 HCV が出現し breakthroughが生じ、さらに NS5B 阻害剤の投与により、3 重耐性型 HCV が出現した. DAA 製剤を sequential に使用すると、多剤耐性変異型 HCV が出現するため、注意が必要であることが示された.

uPA/SCIDマウスよりさらに免疫不全であるNOGマウスにHerpes simplex virus type 1 thymidine kinase (HSVtk)遺伝子を過剰発現させたTK-NOGマウスを用いてヒト肝細胞キメラマウスを作製しHCVを感染させた.TK-NOGマウスはuPA/SCIDマウスに比べヒト肝細胞置換率が低値であってもHCVの感染率が高く、HCV研究に有用な新規のヒト肝細胞キメラマウスに有用になると思われた.

# A. 研究目的

C型肝炎ウイルス(HCV)感染ヒト肝細胞キメラマウスを用いて direct-acting antiviral agent (DAA) 耐性変異型 HCV の出現あるいは genotype 間の治療効果を検討する. さらに uPA/SCID よりさらに免疫不全でるNOGマウスを用いて新規ヒト肝細胞キメラマウスを作製する.

## B. 研究方法

Genotype 1b HCV感染性クローンKT9のNS3 領域にtelaprevir耐性V36A, NS5A領域にNS5A阻害剤耐性L31V, Y93Hを挿入したクローンの全長cDNAを用いてin vitro transcription法によりHCV RNAを合成し、50 μgのRNAをヒト肝細胞移植uPA-SCIDマウスの肝臓内に直接注入し感染マウスを作製後、種々のDAAを投与した。また超免疫不全であるNOGマウスにHerpes simplex virus type 1 thymidine kinase(HSVtk)遺伝子を過剰発現させたTK-NOGマウスに6

mg/kgのガンシクロビル(GCV)を隔日で2回投与しマウス肝細胞のアポトーシスを惹起した. GCV投与1週後にヒト肝細胞を経脾臓的に移植し8週後,HCV陽性ヒト血清を静脈内注射し感染を惹起し,HCV感染率,IFNの薬効を評価した.

# C. 結果

Genotype 1b型C型肝炎患者血清を投与し感染させたマウスにtelaprevirwを投与したところ耐性変異であるNS3V36A変異が出現した。また野生型HCVクローン感染マウスに対し、telaprevirを投与したところ、やはりNS3V36A変異が出現し、HCVクローンからも耐性変異が出現することが見出された。Telaprevir 耐性であるNS3V36A変異クローンを感染させたマウスに対し、telaprevir+NS5A阻害剤を併用投与したところ、血中HCVRNAは低下するものの陰性化は得られず、NS3変異に加えNS5A阻害剤耐性変異であるNS5AY93H変異が出現した。

NS5A 阻害剤耐性である NS5A L31V 変異あるいはL31V+Y93H 変異型クローン感染マウスに対し、telaprevir+NS5A 阻害剤を併用投与したところ NS5A の変異に加え NS3 V36A 変異が出現し2 重耐性型となり breakthrough が生じた.

HCV 感染では、置換率が低値あったマウスにおいても、TK-NOG マウスは uPA-SCID マウスよりも高い割合で感染が成立した。 抗ウイルス薬の薬効を評価したところ uPA-SCID マウスと同程度であった.

TK-NOG マウスへの GCV 投与1 週後の ALT 値が高いほどヒト肝細胞移植8 週後の血中ヒトアルブミン値(ヒト肝細胞置換率)は高値であった. HCV 感染は高置換率マウス(70%以上)では TK-NOG(10/10 頭)および uPA-SCID マウス(50/53 頭)で同程度であったが,低置換率マウス(70%未満)では uPA-SCID(1/5 頭)に比べ TK-NOG マウス(27/28 頭)において有意に高率であった. 感染成立後のマウス血中 HCV RNA 量,IFN 投与による血中ウイルス低下量は TK-NOG および uPA-SCID マウスにおいてほぼ同程度であった.

# D. 考察

DAA 製剤を sequential に使用すると、多剤耐性変異型 HCV が出現するため、注意が必要であることが示された. 新規に作製された TK-NOG マウスを用いたヒト肝細胞は、肝炎ウイルス研究に有用な動物モデルである.

# E. 結論

HCV 感染ヒト肝細胞キメラマウスを用いて DAA 耐性ウイルスの検討が可能であった. TK-NOG マウスを用いて HCV 感染が可能なキメ ラマウスを作製した.

# F.健康危機情報

特になし

# G. 研究発表

# 1. 論文発表

- 1) Shi N, Hiraga N, Imamura M, Hayes CN, Zhang Y, Kosaka K, Okazaki A, Murakami E, Tsuge M, Abe H, Aikata H, Takahashi S, Ochi H, Tateno-Mukaidani C, Yoshizato K, Matsui H, Kanai A, Inaba T, McPhee F, Gao M, Chayama K. Combination therapies with NS5A, NS3 and NS5B inhibitors on different genotypes of hepatitis C virus in human hepatocyte chimeric mice. Gut. 2013 Jul;62(7):1055-61
- 2) Abe H, Hayes CN, Hiraga N, Imamura M, Tsuge M, Miki D, Takahashi S, Ochi H, Chayama K. A Translational Study of Resistance Emergence Using Sequential Direct-Acting Antiviral Agents for Hepatitis C Using Ultra-Deep Sequencing. Am J Gastroenterol 108:1464-72, 2013
- 3) Kosaka K, Hiraga N, Imamura M, Yoshimi S, Murakami E, Nakahara T, Honda Y, Ono A, Kawaoka T, Tsuge M, Abe H, Nelson Hayes C, Miki D, Aikata H, Ochi H, Ishida Y, Tateno C, Yoshizato K, Sasaki T, Chayama K. A novel TK-NOG based humanized mouse model for the study of HBV and HCV infections. Biochem Biophys Res Commun. 2013;441(1):230-5.
- H. 知的財産権の出願・登録状況 特になし

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

# 研究成果の刊行に関する一覧表

# 雑誌

			<b>P</b>	,	
発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shi N, Hiraga N, Imamura M, Hayes CN, Zhang Y, Kosaka K, Okazaki A, Murakami E, Tsuge M, Abe H, Aikata H, Takahashi S, Ochi H,	with NS5A, NS3 and NS5B inhibitors on different genotypes of hepatitis C virus in human hepatocyte	Gut	62	1055-61	2013
Abe H, Hayes CN, Hiraga N, Imamura M, Tsuge M, Miki D, Takahashi S, Ochi H, Chayama K.	A Translational Study of Resistance Emergence Using Sequential Direct-Acting Antiviral Agents for Hepatitis C Using Ultra-Deep Sequencing	Am J Gastroenterol	108	1464-72	2013
Kosaka K, Hiraga N, Imamura M, Yoshimi S, Murakami E, Nakahara T, Honda Y, Ono A, Kawaoka T, Tsuge M, Abe H, Nelson Hayes C, Miki D, Aikata H, Ochi H, Ishida Y, Tateno C, Yoshizato K, Sasaki T, Chayama K	based humanized mouse model for the study of HBV and HCV infections	Biochem Biophys Res Commun	441	230-5	2013
Hata T, Uemoto S, Fujimoto Y, Murakami T, Tateno C, Yoshizato K, Kobayashi E.	Transplantation of engineered chimeric liver with autologous hepatocytes and xenobiotic scaffold.	Ann Surg	257(3)	542-7	2013
Tanaka F, Tominaga K, Sasaki E, Sogawa M, Yamagami H,Tanigawa T, Shiba M, Watanabe K, Watanabe T, Fujiwara Y, Kawada N, Yoshizato K, Arakawa T.	Cytoglobin May Be Involved in the Healing Process of Gastric Mucosal Injuries in the Late Phase Without Angiogenesis.	Dig Dis Sci.	Jan 10.	Epub ahead of print	2013

E,Nakanara I, Honda Y,Ono A,Kawaoka T, Tsuge M,Abe H, Hayes CN, Miki D, Aikata H, Ochi H, Ishida Y, Tateno C,Yoshizato K,Sasaki T, Chayama K.	based humanized mouse model for the study of HBV and HCV infections.	Biochem Biophys Res Commun.	Nov;8 441(1)	230-5	2013
Yoshizato K, Tateno C.	A mouse with humanized liver as an animal model for predicting drug effects and for studying hepatic viral infection: where to next?	Expert Opin Drug Metab Toxicol.	Nov;9(11)	1419-35	2013
Tachibana A, Tateno C, <u>Yoshizato K</u> .	Repopulation of the immunosuppressed retrorsine treated infant rat liver with human hepatocytes.	Xenotranspla ntation.	Jul-Aug; 20(4)	227-38	2013
Shi N, Hiraga N, Imamura M, Hayes CN, Zhang Y, Kosaka K, Okazaki , Murakami E, Tsuge M, Abe H, Aikata H, Takahashi S, Ochi H Tateno-Mukaida niC Yoshizato K, Matsui H, Kanai A, Inaba T, McPhee F, Gao M, Chayama K.	Combination therapies with NS5A, NS3 and NS5B inhibitors on different genotypes of hepatitis C virus in human hepatocyte chimeric mice.	Gut.	Jul;62(7)	1055-61	2013

Tateno C, Miya F, Wake K, Kataoka M, Ishida Y, Yamasaki C, Yanagi A, Kakuni M, Wisse E, Verheyen F, Inoue K, Sato K, Kudo A, Arii S, Itamoto T, Asahara T, Tsunoda T, Yoshizato K.	Morphological and microarray analyses of human hepatocytes from xenogeneic host livers.	Lab Invest.	Jan;93(1)	54-71	2013
ai, T Komura, A Nasti, K Yos hida, M Higashi moto, M Honda,	Adipose tissue-deri ved stem cells as a regenerative ther apy for a mouse st eatohepatitis-induc ed cirrhosis model.		58(3)	1133-42	2013
Honda, T Shima kami, R Horii, T Yamashita, Y	_		87(9)	5270-86	2013
da, K Horimoto, S Aburatani, S Saito, T Yamas hita, Y Sakai, M Nakamura,	Gene expression profiling of hepatitis B- and hepatitis C-related hepatocellular carcinoma using graphical Gaussian modeling.	Genomics	101(4)	238-48	2013
Honda, Y Nak amoto, M Baba, K Nio, Y Hara,		Hepatology	57(4)	1484-97	2013

Y Hodo, M Hon	Association of	Clin Cancer	19(7)	1827-37	2013
da, A Tanaka,	Interleukin 28B	Re	15(1)	1021 01	2010
Y Nomura, K A	genotype and	116			
rai, T Yamashit	hepatocellular				
a, Y Sakai, T Y	carcinoma				
a. I Dakai, I I	recurrence in				
zukoshi, A Saka	natients with				
Zukosni, A Saka	chronic hepatitis C.				
i, M Sasaki, Y	ciiioiiic iicpatițiis C.		-		
Nakanuma, M					
Moriyama, <u>S Ka</u>					
$\underline{\text{neko}}$ .					·
		~			
Abe Y., Aly H. H.,		Gastroenterol	145	658-667	2013
Hiraga N.,	Synthase Inhibitors	ogy		•	
Imamura M.,	Prevent Production				
Wakita T.,	of Infectious				
Shimotohno K.,	Hepatitis C Virus in				
Chayama K.,	Mice With				
Hijikata M.	Humanized Livers				
		D· 1	400	500 505	0010
Kuroki M.,	1	Biochem.	430	592-597	2013
Ariumi Y.,		Biophys. Res.			
<u>Hijikata M.,</u>	is required for HCV	Commun.			
Ikeda M.,	production	•			
Dansako H.,					
Wakita T.,					
Takahashi Y,	Long-Term	Hum Gene	In press		2013
Ando M,	Elimination of	Ther Clin			
Nishikawa M,	Hepatitis C Virus	Dev.			
Hiraga N,	from Human				
Imamura M,	Hepatocyte				
Chayama K,	Chimeric Mice				
Takakura Y	After Interferon y				
- I CHICALOG I	Gene Transfer.				
Uno S,	Efficient delivery	Nanomedicin	In press		2013
Nishikawa M,	of	е	III proce		
Mohri K,	immunostimulator				
Umeki Y,	y DNA to mouse				
Matsuzaki N,	and human				
	immune cells				r
Takahashi Y,	l l				
Fujita H,	through the				
Kadowaki N,	construction of				
Takakura Y.	polypod-like				
7.6 1	structured DNA.	3.f. 1.D.	10	0010 0001	0010
Mukumoto H,	Expression	Mol Pharm.	10	3812-3821	2013
Takahashi Y,	profile-dependent				
Ando M,	improvement of				
Nishikawa M,	insulin sensitivity				
Takakura Y	by gene delivery of				
	interleukin-6 in a				
	mouse model of				
	type II diabetes.				
Miyakawa N,	Gene delivery of	J Pharm Sci.	102	3110-3118	2013
Nishikawa M,	albumin binding				
Takahashi Y,	peptide-interferon-				
Ando M, Misaka	gamma fusion				
	protein with				
M, Watanabe Y,	-				
Takakura Y.	improved				
	pharmacokinetic				
,	properties and				
	sustained		<u></u>	1	<u> </u>

	biological activity.				
A, Miura M,Amemiya F,	Hepatocellular carcinoma risk assessment using gadoxetic acid-enhanced hepatocyte phase magnetic resonance imaging.	Hepatol Res.	Feb 14	In press	2014
Shen H,Yamashita A, Nakakoshi M, Yokoe H, Sudo M, Kasai H, Tanaka T, Fujimoto Y, Ikeda M, Kato N, Sakamoto N, Shindo H, Maekawa S, Enomoto N, Tsubuki M, Moriishi K.	Inhibitory effects of caffeic Acid phenethyl ester derivatives on replication of hepatitis C virus.	PLoS One.	17;8(12)	e82299.	2013
<u>Maekawa</u> <u>S,</u> Enomoto N.	Once-daily simeprevir in combination with pegylated-interfero n and ribavirin: a new horizon in the era of direct-acting antiviral agent therapy for chronic hepatitis C.	J Gastroenterol	Jan;49(1)	163-4.	2014
Miura M,  Maekawa S,  Takano S,  Komatsu N,  Tatsumi A,  Asakawa Y,  Shindo K,  Amemiya F,  Nakayama Y,		J Virol.	87(23)	12541-51.	2013
Shindo H, <u>Maekawa S,</u> Komase K,  Miura M,  Kadokura M,	and IFN-α synergistically inhibit HCV replication.	J Viral Hepat.	20(4)	281-9.	2013
Kurosaki M,Tanaka Y, Nishida N, Sakamoto N, Enomoto N, Matsuura K, Asahina Y, Nakagawa M, Watanabe M, Sakamoto M, Maekawa S, Tokunaga K,	Model incorporating the ITPA genotype identifies patients at high risk of anemia and treatment failure with pegylated-interfero n plus ribavirin therapy for chronic hepatitis C.	J Med Virol.	85(3)	449-58.	2013

TT	G DANIEG	TT / 1 T)	149(0)	005 55	0010
Komase		Hepatol Res.	43(8)	865-75.	2013
K, <u>Maekawa S</u> ,	level influences the				
	response to				
R, Kadokura M,	pegylated				
Shindo H,	interferon and				
Shindo K,	ribavirin therapy in				
Amemiya F,	chronic hepatitis C.				
Nakayama Y,					
Inoue T,					
Sakamoto M,					
Yamashita A,					
Moriishi					
K, Enomoto N.			·		
Katoh H,	Japanese	J Virol	87	489-502	2013
Okamoto T,	Encephalitis				
Fukuhara T,	Virus Core	•			
Kambara H,	Protein Inhibits				
Morita E, Mori	Stress Granule				
Y, Kamitani W,	Formation				
Matsuura Y.	through an				
Maisuula 1.	Interaction with				
	Caprin-1 and				
	Facilitates Viral				
G 1:D	Propagation	DT C		1 '10 107	0010
Suzuki R,	Signal peptidase	PLoS		doi:10.137	2013
Matsuda M,	complex subunit 1	Pathog		1/journal.p	
Watashi K,	participates in the			pat.10035	
Aizaki H,	assembly of			89	
Matsuura Y,	hepatitis C virus				
Wakita T,	through an				
Suzuki T.	interaction with				
	E2 and NS2			1	
Lee H, Komano	Zinc-finger	Proc Natl	110	12379-123	2013
J, Saitoh Y,	antiviral protein	Acad Sci U		84	
Yamaoka S,	mediates retinoic	SA		Ï	
Kozaki T,	acid inducible				
Misawa T,	gene I-like				
Takahama M,	receptor-independ				
Satoh T,	ent antiviral				
Takeuchi O,	response to				
Yamamoto N,	murine leukemia				
Matsuura Y,	virus				
	viius				
Saitoh T, Akira S.					
	Human BDCA3 (+)	Honotology	57	1705-1715	2013
Yoshio S, Kanto		Hepatology	01	1100 1119	2010
T, Kuroda S,	dendritic cells are a	-			
Matsubara T,	potent producer of			,	
Higashitani K,	IFN-λ in response				
	to hepatitis C virus				
H, Hiramatsu N,					
Nagano H,					
Sugiyama M,					
Murata K,					
Fukuhara T,					
L	<u> </u>	L		·	

Kimura T, Katoh	Ifit1 inhibits	J Virol	87	9997-10003	2013
	Japanese				
1 .	encephalitis virus				
1 .	replication through				
Okamoto T,	binding to 5' capped				
Umemoto E,	2'-O unmethylated				
/	RNA				
Yamamoto M,					
Takeda K.					
Tripathi LP,	Understanding	J Proteome	12	2537-2551	2013
Kambara H,	the biological	Res			
Chen YA, Nishimura Y,	context of NS5A-host				
Moriishi K,	interactions in				
Okamoto T,	HCV infection: a				
Morita E, Abe	network-based				
T, Mori Y,	approach				
Matsuura Y,					
Mizuguchi K.					
Ohira M,		Transplant	45(5)	2045-2050	2013
Nishida S,	"	Proc.			
Matsuura T, Muraoka I,	depletion method	-			
Tryphonopoulos	for clinical immunotherapy-a				
P, Fan J, Tekin	nti-hepatitis c				
A, Selvaggi G,	effects of natural				
Levi D, Ruiz P,	killer cells via				
Ricordi C, Ohdan H,	interferon-gamma				
Tzakis AG.	production.				
Onoe T, Tanaka		Transplantat	95(12)	1521-1527	2013
	Portal Hypertension by	ion			
Oshita A,					
Kobayashi T,					
Amano H,	and Immunologic				
	Impact in				
大段秀樹	State of the Art		18(3)	203-213	2013
	肝免疫と肝臓外科  Liver Immunity	Gastroentero logy.			
	and Surgery.	logy.			
Nakajima S,	Specific inhibition	Biochem	440(4)	515-20.	2013
Watashi K,	of hepatitis C virus	Biophys Res			
Kamisuki S,	entry into host	Commun.			
Tsukuda S,	hepatocytes by			·	
Takemoto K,	fungi-derived				
Matsuda M,	sulochrin and its				
Suzuki R,	derivatives.				
Aizaki H,					
Sugawara F,					
Wakita T.					

Cl-: D	Cianal Dantidaga	PLoS Pathog.	(8)	e1003589.	2013
Suzuki R,	Signal Peptidase	PLOS Patitog.	(6)	e1005565.	2015
Matsuda M,	Complex Subunit 1				
Watashi K,	Participates in the				
Aizaki H,	Assembly of				
Matsuura Y,	Hepatitis C Virus	·			
Wakita T,	through an				
Suzuki T.	Interaction with				
	E2 and NS2.				
Maehama T,	A class II	Biochem	440(1)	150-156.	2013
Fukasawa M,	phosphoinositide	Biophys Res			
Date T, <u>Wakita</u>	3-kinase plays an	Commun.			
<u>T</u> , Hanada K.	indispensable role				
	in hepatitis C virus				
Matsumoto Y,	Antiviral Activity of	PLoS One.	8(7)	e68992.	2013
Matsuura T,	Glycyrrhizin				
Aoyagi H,	against Hepatitis C				
Matsuda M,	Virus In Vitro.				
Hmwe SS, Date					
T, Watanabe N,					
Watashi K,		,			
Akazawa D,	Neutralizing	Gastroentero	145(2):	447-455.e4.	2013
Moriyama M,	antibodies induced	logy.			
Yokokawa H,	by cell				
Omi N,	culture-derived				
Watanabe N,	hepatitis C virus		, i		
Date T,	protect against				
Morikawa K,	infection in mice.				
Aizaki H, Ishii					
K, Kato T,		*			
Mochizuki H,			•		
Nakamura N,					
Wakita T.					

IV. 研究成果の刊行物・別刷 (平成25年度)

#### ORIGINAL ARTICLE

# Combination therapies with NS5A, NS3 and NS5B inhibitors on different genotypes of hepatitis C virus in human hepatocyte chimeric mice

Niu Shi,<sup>1,2</sup> Nobuhiko Hiraga,<sup>1,2</sup> Michio Imamura,<sup>1,2</sup> C Nelson Hayes,<sup>1,2</sup> Yizhou Zhang,<sup>1,2</sup> Keiichi Kosaka,<sup>1,2</sup> Akihito Okazaki,<sup>1,2</sup> Eisuke Murakami,<sup>1,2</sup> Masataka Tsuge,<sup>1,2</sup> Hiromi Abe,<sup>1,2</sup> Hiroshi Aikata,<sup>1,2</sup> Shoichi Takahashi,<sup>1,2</sup> Hidenori Ochi,<sup>2,3</sup> Chise Tateno-Mukaidani,<sup>2,4</sup> Katsutoshi Yoshizato,<sup>2,4</sup> Hirotaka Matsui,<sup>5</sup> Akinori Kanai,<sup>6</sup> Toshiya Inaba,<sup>5</sup> Fiona McPhee,<sup>7</sup> Min Gao,<sup>7</sup> Kazuaki Chayama<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>Department of Gastroenterology and Metabolism, Applied Life Sciences, Institute of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University, Hiroshima, Japan <sup>2</sup>Liver Research Project Center, Hiroshima University, Hiroshima, Japan <sup>3</sup>Laboratory for Digestive Diseases, Center for Genomic Medicine, The Institute of Physical and Chemical Research (RIKEN), Hiroshima, Japan <sup>4</sup>PhoenixBio Co., Ltd.,

Higashihiroshima, Japan <sup>5</sup>Department of Molecular Oncology and Leukemia Program Project, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan <sup>6</sup>Radiation Research Center for Frontier Science, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University, Hiroshima, Japan <sup>7</sup>Bristol-Myers Squibb, Research and Development,

Wallingford, Connecticut, USA

#### Correspondence to

Professor Kazuaki Chayama, Department of Gastroenterology and Metabolism, Programs for Biomedical Research, Graduate School of Biomedical Science, Hiroshima University, 1-2-3 Kasumi, Minami-ku, Hiroshima 734-8551, Japan;chayama@ mba.ocn.ne.jp

Received 29 March 2012 Revised 18 December 2012 Accepted 20 December 2012 Published Online First 15 January 2013

#### ABSTRACT

**Objective** We recently demonstrated that combination treatment with NS3 protease and NS5B polymerase inhibitors succeeded in eradicating the virus in genotype 1b hepatitis C virus (HCV)-infected mice. In this study, we investigated the effect of combining an NS5A replication complex inhibitor (RCI) with either NS3 protease or NS5B inhibitors on elimination of HCV genotypes 1b, 2a and 2b.

**Design** The effects of Bristol-Myers Squibb (BMS)-605339 (NS3 protease inhibitor; PI), BMS-788329 (NS5A RCI) and BMS-821095 (NS5B non-nucleoside analogue inhibitor) on HCV genotypes 1b and 2a were examined using subgenomic HCV replicon cells. HCV genotype 1b, 2a or 2b-infected human hepatocyte chimeric mice were also treated with BMS-605339, BMS-788329 or BMS-821095 alone or in combination with two of the drugs for 4 weeks. Genotypic analysis of viral sequences was achieved by direct and ultra-deep sequencing.

Results Anti-HCV effects of BMS-605339 and BMS-821095 were more potent against genotype 1b than against genotype 2a. In in-vivo experiments, viral breakthrough due to the development of a high prevalence of drug-resistant variants was observed in mice treated with BMS-605339, BMS-788329 and BMS-821095 in monotherapy. In contrast to monotherapy, 4 weeks of combination therapy with the NS5A RCI and either NS3 PI or NS5B inhibitor succeeded in completely eradicating the virus in genotype 1b HCV-infected mice. Conversely, these combination therapies failed to eradicate the virus in mice infected with HCV genotypes 2a or 2b.

**Conclusions** These oral combination therapies may serve as a Peg-alfa-free treatment for patients chronically infected with HCV genotype 1b.

#### INTRODUCTION

Hepatitis C virus (HCV) infection is a major cause of chronic liver diseases, such as cirrhosis and hepatocellular carcinoma. A number of new selective inhibitors of HCV proteins, termed direct-acting antiviral agents (DAA), are currently under development. HCV inhibitors targeting NS3 protease and NS5A and NS5B polymerase activity have proceeded to clinical trials for HCV-infected

#### Significance of this study

#### What is already known on this subject?

- Anti-HCV drug monotherapy for chronic hepatitis C patients often results in viral breakthrough due to the emergence of drug-resistant clones.
- ► Combination treatment of NS3 PI and NS5A inhibitor can eradicate genotype 1b HCV in chronic hepatitis C patients without interferon.

#### What are the new findings?

► Combination treatment of NS5A inhibitor with either NS3 PI or NS5B inhibitor can eradicate HCV, but the effect differs among HCV genotypes.

# How might it impact on clinical practice in the foreseeable future?

▶ Short-term combination of NS5A inhibitor with either NS3 PI or NS5B inhibitor might provide an effective interferon-free treatment for genotype 1b chronic hepatitis C patients; however, the combination treatment might be less effective against genotype 2.

patients. DAA are used in combination with Peg-alfa and ribavirin because monotherapy with these drugs results in the early emergence of drug-resistant variants.<sup>3</sup> <sup>4</sup> As Peg-alfa/ribavirin treatment is frequently associated with serious adverse events, an oral Peg-alfa/ribavirin-free DAA combination therapy would offer an ideal treatment option for chronic hepatitis C patients. The first proof-of-concept study to combine NS3 protease and NS5B inhibitors (INFORM-1) reported that 13 days of this combination treatment achieved robust antiviral suppression in genotype 1 HCV-infected patients, and no evidence of resistance to either compound was observed.5 Following the INFORM-1 study, we and other groups have also reported that a DAA-only combination comprising NS3 protease inhibitor (PI), Bristol-Myers Squibb (BMS)-650032 (asunaprevir) and NS5A replication complex inhibitor (RCI), BMS-790052 (daclatasvir) can achieve high sustained virological

#### Hepatology

response (SVR) rates in patients with HCV genotype 1b infection. A number of DAA-only combination studies are now entering phase 2 clinical trials. The effect of telaprevir was recently analysed in genotype 2 HCV-infected patients. Fifteen days of telaprevir monotherapy decreased the serum HCV RNA titre by 3.7 log<sub>10</sub> IU/ml, and 3 months of telaprevir plus 24 weeks of Peg-alfa/ribavirin triple therapy resulted in SVR in 100% of genotype 2 HCV-infected patients. However, the effect of Peg-alfa/ribavirin-free DAA combination therapy on genotype 2 HCV has not been reported.

The immunodeficient urokinase-type plasminogen activator (uPA) mouse permits repopulation of the liver with human hepatocytes that can be infected with HCV. This animal model is useful for evaluating anti-HCV drugs such as Peg-alfa and NS3 PI. Using this animal model, we recently described the successful elimination of HCV genotype 1b by treatment with a combination of NS3 protease and NS5B inhibitors. In this study, we investigated whether short-term combination treatments with NS5A RCI and either NS3 protease or NS5B site I inhibitors could eliminate HCV *in vivo* in human hepatocyte chimeric mice, and we compared the efficacy of the drugs against HCV genotype 1 versus genotype 2.

#### **METHODS**

#### Compounds and cells

BMS-605339 (NS3 PI, analogue of asunaprevir), BMS-788329 (NS5A RCI, analogue of daclatasvir) and BMS-821095 (NS5B non-nucleoside analogue inhibitor; NNI) were synthesised by BMS. Huh-7 cells that stably maintain HCV replicons were propagated as subconfluent monolayers in Dulbecco's modified essential medium containing 10% fetal bovine serum, 2 mM L-glutamine, and 0.5 mg/ml geneticin (G418; Invitrogen Corp., Carlsbad, California, USA) at 37°C under 5% carbon dioxide. <sup>13</sup>

#### Determination of IC<sub>50</sub> in culture systems

The genotype 1b (Con 1) replicon cell line was constructed as described previously.  $^{14}$  A genotype 2a (JFH-1) cell line was generated by introducing the JFH-1 sequence from NS3 to NS5B into the genotype 1b (Con 1) backbone.  $^{15}$  Inhibition of HCV RNA replication by either BMS-605339, BMS-788329 or BMS-821095 for 72 h was monitored using a luciferase reporter assay. Antiviral activities of the compounds, for example, the 50% inhibitory concentration (IC50), were determined as described previously.  $^{16}$ 

#### Human serum samples

Human serum containing a high titre of HCV genotypes 1b, 2a and 2b was obtained from patients with chronic hepatitis who had given written informed consent to participate in the study. Serum samples were divided into small aliquots and stored in liquid nitrogen until use. The study protocol conforms to the ethical guidelines of the 1975 Declaration of Helsinki and was approved a priori by the institutional review committee.

#### **Animal treatment**

Generation of the uPA<sup>+/+</sup>/SCID<sup>+/+</sup> mice and transplantation of human hepatocytes were performed as described previously.<sup>17</sup> All mice were transplanted with frozen human hepatocytes obtained from the same donor. All animal protocols described in this study were performed in accordance with the guidelines of the local committee for animal experiments, and all animals received humane care. Infection, extraction of serum samples and killing of animals were performed under ether anaesthesia. Eight weeks after hepatocyte

transplantation, mice were injected intravenously with 100  $\mu l$  of HCV-positive human serum samples. Mice serum samples were obtained every 1 or 2 weeks after HCV infection, and HCV RNA levels were measured.

#### Treatment of HCV-infected mice with anti-HCV inhibitors

Eight weeks after HCV infection when the mice developed stable viraemia (6–8  $\log_{10}$  copies/ml), mice were administered orally with one of the following: 75 mg/kg of BMS-605339 (twice a day); 10 or 30 mg/kg of BMS-788329 (once a day); or 30 or 100 mg/kg of BMS-821095 (once a day) for 4 weeks. To analyse the effect of the combination treatment, BMS-788329 was mixed with either BMS-605339 or BMS-821095 and given together as a cocktail. To analyse susceptibility to Peg-alfa, 10  $\mu g/kg$  of human Peg-alfa (Chugai Pharmaceutical Co. Ltd., Tokyo, Japan) were administered by intramuscular injection twice a week for weeks.

#### RNA extraction and amplification

RNA extraction, nested PCR and quantitation of HCV by real-time PCR were performed as described previously. <sup>11</sup> <sup>12</sup> Briefly, RNA was extracted from serum samples and extracted livers using SepaGene RVR (Sankojunyaku, Tokyo, Japan) and reverse transcribed with a random hexamer and a reverse transcriptase (ReverTraAce; TOYOBO, Osaka, Japan) according to the instructions provided by the manufacturer. Quantitation of HCV complementary DNA was performed using a light cycler (Roche Diagnostic, Japan, Tokyo). The lower detection limit of real-time PCR is 3 log<sub>10</sub> copies/ml.

#### Sequence analysis

The nucleotide and amino acid sequences of the NS3, NS5A and NS5B regions of HCV were determined by direct sequencing as described previously. The primers used to amplify the NS3 region were 5'-GTGCTCCAAGCTGGCATAAC-3' and 5'-AGGACCGAGGAATCGAACAT-3' as the first (outer) primer pair and 5'-CTAGAGTGCCGTACTTCGTG-3' and 5'-ACTG ATCCTGGAGGCGTAGC-3' as the second (inner) primer pair. The primers used to amplify the NS5A region were 5'-GAA TGCAGCTCGCCGAGCAA-3' and 5'-CCATGTTGTGGTGGC GCAGC-3' as the first (outer) primer pair and 5'-GCAGCT GTTGGCAGCATAGGTC-3' and 5'-GATGGTAGTGCATGTCG CC-3' as the second (inner) primer pair. The primers used to amplify the NS5B region were 5'-TAAGCGAGGAGGCTGG TGAG-3' and 5'-CCTATTGGCCTGGAGTGTTT-3' as the first (outer) primer pair and 5'-GACTCAACGGTCACTGAGAG-3' and 5'-CCTATTGGCCTGGAGTGTTT-3' as the second (inner) primer pair. The amplified DNA fragments were separated onto a 2% agarose gel and purified using the QIAquick gel extraction kit (Qiagen, Hilden, Germany). Nucleotide sequences were determined using BigDye Terminator v3.1 cycle sequencing kit (Applied Biosystems Inc., California, USA). The obtained nucleotide and amino acid sequences were compared with the prototype sequences of genotype 1b HCV-J (GenBank accession no.: D90208)18.

#### Ultra-deep sequencing

We have adapted multiplex sequencing by synthesis to sequence multiple genomes simultaneously using the Illumina genome analyser. Briefly, cDNA was fragmented using sonication, and the resultant fragment distribution was assessed using the Agilent BioAnalyzer 2100 platform. A library was prepared using the Multiplexing sample preparation kit (Illumina Inc., California, USA). Imaging analysis and base

Gut 2013;62:1055-1061. doi:10.1136/gutjnl-2012-302600

calling were performed using Illumina Pipeline software with default settings. The N-terminal 1344 nucleotides of NS3 protease, 1146 nucleotides of NS5A RCI and 1133 nucleotides of NS5B polymerase were analysed. This technique revealed an average coverage depth of over 1000 sequence reads per base pair in the unique regions of the genome. Read mapping to a reference sequence was performed using BWA. Direct sequencing consensus data were used to improve alignment to the reference sequence. Codon counts were merged and analysed using R V.2.14.

#### Statistical analysis

Mice serum HCV RNA titres were compared using the Mann–Whitney U test. A p value less than 0.05 was considered statistically significant.

#### RESULTS

# Antiviral activities of BMS-605339, BMS-788329and BMS-821095 in cell culture systems

The inhibitory effects of BMS-605339, BMS-788329 and BMS-821095 on HCV replication were analysed *in vitro* using HCV replicon cells (genotype 1b, Con 1 and genotype 2a, JFH1). A summary of the IC $_{50}$  values for each drug is shown in table 1. Antiviral activities of BMS-605339 and BMS-788329 were similar to asunaprevir $^{15}$  and daclatasvir, $^{20}$  respectively. BMS-605339 and BMS-821095 IC $_{50}$  values were 23-fold and 116-fold more potent against genotype 1b than against genotype 2a, respectively.

# Peg-alfa treatment on mice infected withHCV genotypes 1 and 2

We first analysed the effect of Peg-alfa on mice infected with HCV genotypes 1 and 2. Mice were injected with  $10^5$  copies of HCV obtained from patients infected with HCV genotypes 1b, 2a, or 2b. Administration of  $10 \,\mu\text{g/kg}$  of human Peg-alfa twice a week for 2 weeks resulted in only a  $0.53 \, \text{log}_{10}$  decrease in the serum HCV RNA titre in HCV genotype 1b-infected mice (figure 1). In contrast, the same therapy resulted in  $1.9 \, \text{log}_{10}$  and  $1.5 \, \text{log}_{10}$  decreases in serum HCV RNA titres in mice with HCV genotypes 2a (p<0.05) and 2b (not significant), respectively. No decline in HCV RNA titre was observed in control mice infected with HCV genotype 1b during this 2-week period (figure 1). These results are consistent with the clinical observation that genotype 2 demonstrates a higher susceptibility to Peg-alfa treatment compared to HCV genotype 1.

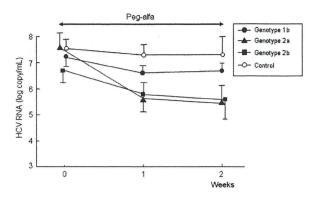
# Effects of BMS-605339, BMS-788329, or BMS-821095on HCV genotype 1b in mice

We analysed the effect of DAA monotherapy on mice infected with HCV genotype 1b. Nine mice were injected with 10<sup>5</sup> copies of HCV obtained from a patient infected with genotype 1b. Eight weeks after injection when stable viraemia had developed, mice were treated with BMS-605339 (N3PI) (figure 2A), BMS-788329 (NS5A RCI) (figure 2B) or BMS-821095 (NS5B

Table 1 In-vitro activity of BMS-605339, BMS-788329 and BMS-821095 in HCV replicon assays

	IC <sub>50</sub> (nM)					
Genotype (strain)	BMS-605339	BMS-788329	BMS-821095			
1b (Con 1)	3.5±0.8	0.012±0.005	3.8±0.6			
2a (JFH-1)	81±27	$0.014 \pm 0.007$	365±266			

Data are represented as means  $\pm$  SD from at least three independent experiments. HCV, hepatitis C virus.##



**Figure 1** Antiviral effects of Peg-alfa treatment in mice. Mice were infected with hepatitis C virus (HCV) genotypes 1b (n=3), 2a (n=4) or 2b (n=4), then treated with 10  $\mu$ g/kg of Peg-alfa twice per week for 2 weeks. HCV-infected mice without treatment (n=3) were also analysed (control). Mice serum HCV RNA titres were measured at the indicated times. Data are presented as mean $\pm$ SD.

site I inhibitor) (figure 2C) for 4 weeks. Although all BMS-605339 and BMS-788329-treated mice showed an initial reduction of serum HCV RNA titres, all later showed rebound during treatment. Nucleotide analysis by direct sequencing revealed the emergence of a mutation coding for D168E in the (NS3 PI-resistant variant)<sup>21</sup> region BMS-605339-treated mouse (figure 2A), and a mutation coding for Y93H in the NS5A region (NS5A RCI-resistant variant)14 in a BMS-788329-treated mouse at week 4 of treatment (figure 2B). Almost all mice treated with BMS-821095 showed an initial reduction in serum HCV RNA titres, and also showed rebound with the emergence of mutations coding for P495A and P495S in the NS5B region (NS5B site I inhibitor-resistant variant)<sup>22</sup> at week 4 of treatment (figure 2C). HCV RNA titre reduction was not obvious in some mice treated with 30 mg/kg of BMS-821095 (figure 2C), suggesting that exposure of this inhibitor at 30 mg/kg dosing was not sufficient to suppress viral replication. Ultra-deep sequence analysis showed the development of a high prevalence of drug-resistant variants in mice sera in the NS3 PI, NS5A RCI-treated mice, and enrichment of pre-existing resistance variants in the NS5B NNI-treated mouse 4 weeks after the beginning of the treatment (figure 2D).

# Combination treatment of BMS-788329 with either BMS-605339 or BMS-821095 in HCV genotype 1b mice

As monotherapies with either the NS3 PI, or the NS5A RCI or the NS5B NNI were unable to eradicate HCV RNA due to the emergent resistance variants, we analysed the effects of combining the NS5A RCI with either the NS3 PI or NS5B NNI. Mice infected with HCV genotype 1b (two mice per combination group) were treated with 10 mg/kg of BMS-788329 and either 75 mg/kg twice daily of BMS-605339 or 100 mg/kg of BMS-821095 for 4 weeks. In all mice, HCV RNA became negative by nested PCR 1 week after the beginning of combination therapy and remained undetectable after cessation of treatment (figure 3A,B). Elimination of the virus was assumed as HCV RNA was undetectable by nested PCR in mice livers treated with BMS-788329 and either BMS-605339 or BMS-821095 8 weeks (week 12) and 7 weeks (week 11) after cessation of therapy, respectively (figure 3C).